

在住外国人の日本語学習支援に関わる方へ

「生活者としての外国人」 のためのヘルスリテラシー 共に考え、実践につなげる報告会

2024年 3月13日(水) 13:30~16:00

ZOOM開催 ★事前申し込みが必要です★
使用言語 日本語・英語（一部通訳あり）

受講
無料

「この食品は健康にいい？悪い？」「熱が高いけど、病院で診てもらえるだろうか？」日々わたしたちは自分や家族の健康を維持するために、さまざまな情報を検索し読んでいます。しかし、もし読み書きが不自由な国で生活することになったとき、同じことができるでしょうか。

本報告会では、健康に関する情報を読み、理解し、行動すること、これら「ヘルスリテラシー」をテーマに、在住外国人のヘルスリテラシーとその実践について日米の実践者が報告します。そして、日本における在住外国人のヘルスリテラシーについて共に考えます。

●論者

マリセル・サントス氏
サンフランシスコ州立大学教授

米国にて、移民の健康とリテラシーの獲得との関係をテーマに、医療関係者と協働した先駆的な移民へのヘルスリテラシー実践研究を行う。

竹野翠氏

NPO法人CHARMスタッフ

医療者と市民が協働するNPO法人(CHARM)において、日本に暮らすすべての人が健康に過ごせる社会をめざし、HIV陽性者や日本語非母語話者を支援する。

加藤丈太郎氏

武庫川女子大学専任講師

研究テーマは、ベトナムから日本への国際労働移動。NPOにおいて非正規移民に在留資格を求める活動に従事した経験から、外国人労働者が抱える問題に詳しい。

●実践報告者

新庄あいみ

『生活の漢字』をかんがえる会

日本語教師。『生活の漢字』をかんがえる会のメンバーで、2006年より文化庁の事業において在住外国人の文字学習支援および支援者養成を行う。

●司会進行

新矢麻紀子氏

大阪産業大学教授

研究テーマは、国際結婚移住女性のリテラシー。『生活の漢字』をかんがえる会を立ち上げ、日本各地で学習支援および人材育成に関わる。

参加希望の方は3月6日までに事前申し込みをしてください。当日のZOOM等の情報をお送りします。

申し込み方法 右のQRコードを読み取り、必要事項を記入してください。

問い合わせ先 kanjidaisuki2017@gmail.com 『生活の漢字』をかんがえる会



ご記入いただいた個人情報は、報告会の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。

主催：一般財団法人ダイバーシティ研究所 『生活の漢字』をかんがえる会

令和5年度「生活者としての外国人」のための特定のニーズに対応した日本語教育事業（地域日本語教育実践プログラム）活用

